

平成23年度 事業報告

法人全般

学園事業

■創立者加計勉先生を語る会

本年の創立者の日（4月30日）に「創立者加計勉先生を語る会」を開催いたしました。

教職員一人ひとりの胸中にある創立者との懐かしい思い出と重ね合わせながら、創立者の偉業を心に刻む日になりました。

岡山理科大学第25号館理大ホールにて実施、約300名が参加しました。

■鈴木章先生ノーベル化学賞受賞祝賀会

5月28日（土）、鈴木章先生をお招きしてノーベル化学賞受賞祝賀会を開催いたしました。鈴木章先生は平成7年から14年まで岡山理科大学、倉敷芸術科学大学の教授を務められ、この度、両大学より特別荣誉教授の称号を授与されました。

約400名の参加があり、顕著な業績をお祝いしました。

■省エネルギーの推進

平成21年度より省エネルギー推進委員会を定期的に開催し、省エネルギーに対する教職員の意識向上に努めています。本年度も、重点項目を設定し、省エネルギーに努めました。

平成23年度は省エネ会議を2回開催しており、エネルギー消費量は昨年度より6.9%減少しました。

■ヘルスパイア倉敷

平成22年にオープンしましたヘルスパイア倉敷（旧サンピア倉敷）にて、ラドン温浴施設を設置

いたしました。

これにより、人体に有益とされるラジウムなどの少量の放射能が人体に及ぼす作用について、倉敷芸術科学大学生命科学部などの各機関と共同で研究を進めています。

5月22日（日）、多目的ホールにおいて、川嶋朗講師の「統合医療とホルミシス」と題した講演が開催され、約350名の参加がありました。ラドン温浴の効果について、放射線と放射線ホルミシスを中心に統合医療の観点から講話されました。

■包括連携協定

①鹿児島県瀬戸内町

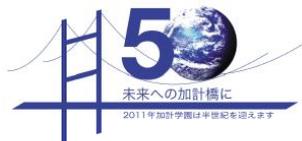
11月28日、鹿児島県瀬戸内町と包括連携協定を締結しました。岡山理科大学で調印式が行われ、加計晃太郎理事長と瀬戸内町の房克臣町長が協定書に署名しました。学園と町、学生と町民との交流を軸に、教育・研究、文化・スポーツ、健康・福祉、地域づくり・まちづくり等幅広い分野で連携協定を図りました。

②山陽新聞社

3月7日、山陽新聞社と包括連携協定を締結しました。加計学園50周年記念館で調印式が行われ、加計晃太郎理事長と越宗孝昌社長が協定書に署名しました。多彩な分野で貢献出来るよう連携協定を図りました。

50周年記念事業

本年度、加計学園創立50周年を迎えるにあたり、平成18年度に「創立50周年記念



事業委員会」を立ち上げ、事業内容を検討し、既に岡山理科大学において実施している「電光掲示板の設置」、「岡山理科大学正門の設置」をはじめ、各事業を進めて参りました。

以下の事業を完了、実施し、50周年を迎えることができました。

■加計学園創立50周年記念行事

- ① 9月10日（土）、本学園創立50周年と毎日新聞の創刊140年という節目を記念し、「命を守る防災新世紀—日本文化に根ざす自然との共生の知恵と科学技術の融合を目指して」を大阪の毎日新聞オーバホールにて開催し、約420名が熱心に耳を傾けました。作家椎名誠先生をはじめとする6氏をお招きし、自然を畏怖する日本の伝統的な防災意識の大切さを再認識しました。
- ② 9月17日（土）、岡山市のカンコースタジアムにて、ファジアーノ岡山の試合に協賛し、「加計学園創立50周年記念DAY」の一環として、KAKEフェスティバルを開催しました。各設置校が特色ある体験ブースを設置して行ったイベントには約1,000名の方が参加され、大いに盛り上がりました。
- ③ 11月16日（水）、柔道世界金メダリスト山下泰裕先生をお招きし「人生の金メダルを目指して」と題した講演会を開催しました。学生ら約450名に悔いのない生き方について講話されました。
- ④ 11月19日（土）、昨年ノーベル化学賞を受賞した鈴木章先生をお招きして、講演会を実施、約600名の参加がありました。

50周年記念館のテープカット、創立者加計勉銅像除幕式、胸像除幕式も行われました。

この後、笹ヶ瀬キャンパスにある加計記念体育館にて、加計学園創立50周年記念式典・祝賀会を開催し、約1,150名が参加しました。

同日、千葉科学大学マリーナキャンパスにて、毎日新聞社論説委員 与良正男先生による講演会「私たちが変われば政治も変わる」が開催され、約320名が参加しました。

この後行われた祝賀会には約400名の参加がありました。

- ⑤ 11月20日（日）、第一回加計学園杯日本語弁論国際大会決勝大会を開催しました。

予選大会は、ネパール、韓国、中国（上海）、中国（北京）、中国（成都）、マレーシア、スリランカ、ベトナム、ミャンマーの9会場で行われ、合計参加総数800名を超える中から9名が日本で開催される決勝大会出場の権利を獲得しました。9名の予選優勝者は、「私の知っている日本」と題し、約200名を前にそれぞれの民族衣装を身にまとい発表を行いました。

- ⑥ 3月11日（日）、千葉科学大学において、ノーベル化学賞受賞者の鈴木章先生をお招きしての特別講演会『ノーベル化学賞を受賞して』を開催しました。会場には在学学生や地元の高校生をはじめ、近隣の市町村から約800名に及ぶ聴衆が集まりました。東日本大震災の発生1年を迎える日であることから、鈴木先生の講演に先立ち、藤本准教授による講演『東日本大震災から1年、地震・津波を考える』を開催しました。その他、学生消防隊による放水のデモンストラクションが行われ、発生時間である14時46分には1分間の被災地への黙祷が捧げられました。

■記念行事

- ① 2月18日（土）、500年の伝統を誇る日本三大奇祭の一つ「西大寺会陽」の祝主に本学園が選ばれ、教職員やOBら181人が参加しました。極寒の中、水垢離を取って本堂の周りをか

けまわり、50周年イベントを勇ましく締めくくりました。

■出版物の作成等

50周年記念事業の一環として、以下の出版物を作成いたします。

- ①「創立50周年記念誌」の編纂を行います。同時に、映像・写真のデータベース化を図ります。
- ②創立者 加計 勉フィロソフィー「私学ひと筋にかけた“道”」を作成し、「創立者加計勉先生を語る会」（4月30日開催）にて配布いたしました。創立者の思いをより一層取り入れ、加筆修正したものを「加計学園創立50周年記念式典・祝賀会」（11月19日開催）にて配布いたしました。
- ③機関誌「50周年へGoGo!」の作成と配布をいたしました。平成24年度に最終版を発行する予定になっております。

■創立50周年記念館の建設



高校中庭に50周年記念館を建設いたしました。

延べ床面積1,400㎡の4階建てで、学園50年の歴史や各設置校の情報を紹介する展示スペー

スや、中・小規模の講演会や演奏会などを行える円形多目的ホール等があります。

■創立者加計勉の銅像設置



創立者加計勉の業績を称えるとともに、「建学の理念」の精神を引き継ぐ象徴として、岡山理科大学ロータリーの中心に、倉敷芸術科学大学蛭田二郎名誉教授制作の創立者の銅像を設置しました。

■加計勉基金の創設

50周年記念事業として、新たに50周年記念加計勉基金を創設します。これは教育助成などを行うことを目的とし、加計学園の8設置校を対象とした奨学制度とします。

■基金・募金事業

上記計画に要する資金調達のため、平成20年度から募金を行い、第2期募集期間（平成22年4月1日～平成24年3月31日）で寄付受付をしました。

特命事業関係

私学経営の厳しさが増す中で多様な財源確保方策の一助とし、且つ学園組織の簡素化等に資するため特命事業として、出資会社K2ライフラボによる事業を積極的に進めるとともに企業活動を広く展開しつつ学園へ寄与するよう努めました。

■主な事業

次の各種事業を積極的に展開して参りました。

①技術・研究シーズの社会還元事業の展開

- ・好適環境水事業（陸上閉鎖循環式養殖システム・海水魚淡水魚混泳化飼育水、魚体トリートメント浴用水）
- ・水質浄化事業（亜塩素酸・水族館、湖沼等）
- ・eラーニング事業（MOMOTAROシステム）
- ・化粧品開発事業（潤身シリーズ）
- ・その他の特許権、著作権に係る市場化事業

②学園業務支援事業の展開

- ・業務受託事業
- ・学外実習場の提供（アクア・洋菓子製造等実習）及び実習成果物受託販売（観賞魚等）
- ・消耗品調達代行システムの導入展開
- ・印刷・製本事業

③学生・教職員、地域住民等に対する学園サービス業務の代行又は提供事業

- ・図書類、学用品等の斡旋販売
- ・外貨宅配事業
- ・レンタル事業（袴・生活用品・各種物品）
- ・各種傷害保険等保険代理店事業

④ヘルスパイア倉敷等運営事業

ヘルスパイア倉敷の施設整備の進展に伴い倉敷芸術科学大学との連携の下、施設の管理運営に関し教育研究施設以外の施設についての運営業務を行いました。

- ・屋外レジャープール運営事業
- ・アイスアリーナ運営事業
- ・ファスティングヘルス事業（断食道場）

- ・ラドン温浴施設
- ・レストラン事業
- ・スポーツ施設管理事業（テニス、フットサル、スカッシュ等）
- ・その他事業

■株式会社SID創研

平成23年12月、
加計学園出資会社とし



て株式会社SID創研（Space(空間)Intellect(知性)Dream(夢))を設立、平成24年度より本格的に運営いたします。

国際交流関係

本学園はグローバル化する国際社会において、諸外国との親密な連携が人材育成には不可欠であると考え、早くから国際性の涵養を教育理念の一つに掲げ、様々な取り組みを続けています。

本年度についても以下のような取り組みを実施いたしました。

■フェアウエルパーティー

7月15日、教育交流協定を締結している諸外国の学生等を招待したフェアウエルパーティーを、岡山理科大学スカイテラスにて開催しました。

訪日文化研修団17名を含む約500名が参加し、中国、韓国、ネパール、スリランカ、ベトナムの屋台を楽しみました。

■教育交流協定調印式

9月16日(金)、理大11号館ラウンジにおいて、タイの泰日工業大学と教育交流協定に調印しました。加計理事長、クリサダ・ヴィサヴァティノン学長が、安倍晋三元首相立会のもとで協定書に署名をしました。

■第一回加計学園杯日本語弁論国際大会

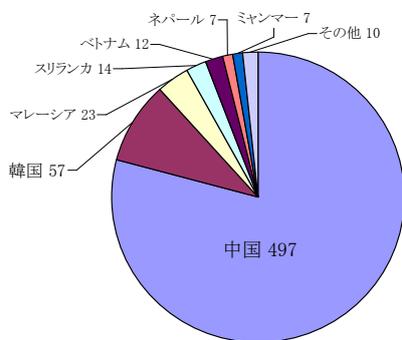
7カ国計9会場にて開催し、予選を勝ち抜いた9名の出場者が熱弁を奮いました。

■海外支局長会議

春期は4月6～7日、秋期は11月21日の2回開催しました。春期は入学式に参加し、秋期は勉強会・報告会を開催、留学生弁論大会に参加するなど、海外支局長同士の連携を深めました。

■国別留学生内訳

(平成23年5月1日現在)



総数：627 (単位：人)

■平成23年度教育交流協定を締結校

- 5月3日 コンゴ民主共和国：高等技術大学
- 12月19日 韓国：木洞高等学校
- 2月17日 中国：安徽外国語学院

■教育交流協定校との交流プログラム

国名	計画	実行
アメリカ	ライト大学仕事体験生4名	4～3月
韓国	湖西大学単位互換履修生3名	4～3月
台湾	受入：致理技術学院科目等履修生 岡山理科大学へ4名、倉敷芸術科学大学へ2名	4～3月
台湾	受入：致理技術学院学生訪日研修団21名	5.23～6.1
アメリカ	受入：フィンドリー大学学生訪日研修団来学5名	6.25～7.19
ブラジル	受入：パナマ連邦大学・パラナティカ大学学生訪日研修団12名	6.26～7.21
中国	受入：黒龍江農業技術学院学長一行2名	7.4～7.8
ブラジル	派遣：パナマ連邦大学・パラナティカ大学へ学生研修団5名	8.7～8.31
イギリス	派遣：カンダラント大学へ学生研修団7名	8.7～8.29
韓国	受入：木洞高校訪日研修団29名	8.18～8.19
台湾	派遣：南台科技大学へ学生研修団計3名	8.21～9.3
タイ	受入：泰日工業大学学長	9.5
中国	受入：無錫市堰橋中学校長一行4名訪日団	11.7～11.9
中国	南京田家炳高級中学学生研修団35名	11.25～12.1
中国	受入：無錫市堰橋中学学生研修団28名	1.7～1.13
韓国	受入：全南女子商業高校18名学生研修団	2.3～2.4
韓国	受入：正明高校27名学生研修団	2.15～2.20
韓国	受入：木洞高校37名学生研修団	2.20～2.23

■海外協定校

(平成24年3月31日現在)

国名	教育交流協定校	校数
中国	南開大学、北京科技大学、雲南大学、中山大学、河南科技大学、東北師範大学、東北師範大学人文学院、中国管理軟件学院、北京城市学院、北京市実美職業学校、北京市求实職業学校、黒龍江中医薬大学、安徽外国語学院 (留学生募集に関する提携校：内モンゴ智力引進外語専修学院、北京平成日本語学校、成都瀨川日本語学校、四川外国語学院国際教育学院、西南交通大学外語学院国際項目部、深圳職業技術学院、明正日本語学校、南京卓越日本語専修学院、無錫運河実験中学校、長沙明照日本語専修学院、吉林動画学院他)	13校 (23校)
韓国	慶一学園、金剛学園(永同大学、亨硯高校)、鶴山学園(東ソウル大学)、金龍学園(徳園女子高校、徳園芸術高校)、桂林学園(正明高校)、清錫学園(清州大学)、純心教育財団(純心高校)、湖西学園(湖西大学)、江原大学、金泉大学、大田保健大学、韓国防災協会、全南女子商業高等学校、木洞高校	14校
台湾	大華技術学院、明新科技大学、南台科技大学、稲江科技暨管理学院、稲江高級商業職業学校、金甌女子高級中学、致理技術学院、海山高級工業職業学校、治平高級中学、財団法人崇右技術学院	10校
アメリカ	ライト大学、ハワイ大学、フィンドリー大学、シェネンドーア大学、グアム大学	5校
イギリス	サンダーランド大学、オックスフォード大学、ケンブリッジ大学キャベンディッシュ研究所、ダービー大学	4校
ブラジル	パラナ・カトリカ大学、パラナ連邦大学、バンデイランテス高校	3校
スリランカ	ワヤンバ・ロイヤルカレッジ、マリヤデワ・カレッジ、マリヤデワ・バーリカウィッダヤーラヤ、マヒンダ・カレッジ・ゴール	4校
オーストリア	ヨハネス・ケプラー大学、リンツ工科造形芸術大学	2校
シンガポール	ニー・アン・ポリテクニク、シンガポール・ポリテクニク	2校
ベルギー	ブリュッセル自由大学、アントワープ王立美術アカデミー	2校
タイ	泰日工業大学、パトゥムワン・デモンストレーション・スクール	2校
フランス	リヨンI大学	1校
カナダ	モホーク大学	1校
フィリピン	フィリピン国立大学ロスバニョス校	1校
コスタリカ	コスタリカナショナル大学	1校
オーストラリア	アニマルインダストリーズリソースセンター	1校
コンゴ民主共和国	高等技術大学	1校
マレーシア	マラ工科大学医学部	1校
ベトナム	ひかり日本語学校	1校

人事・組織

■人事評価プロジェクト

個人の目標や評価基準を設定し、学園が掲げる戦略や目標に向かって進んでいくため、法人総務部に人事評価プロジェクトを設置しました。

職員は「進化する自己点検・勤務考課」を実施したことで、個人・各部署のレベルアップを図るきっかけになりました。

教員についても来年度より実施いたします。

■中学・高校事務部

中高一貫教育に伴い、中学校、高等学校、中高入試広報室事務を中学・高校事務部に統一し、横断的な業務が行えるようになりました。

■加計学園理事・監事・評議員概況

区分	定数	常勤	非常勤	計
理事	9 ～ 13	6	3	9
監事	2		2	2
評議員	23 ～ 32	27	4	31

(平成23年5月1日現在)

4月30日 加計美也子理事辞任

5月 1日 加計役理事就任

6月 1日 加計役副理事長就任

6月 1日 北村良人理事就任

9月30日 添田喬理事辞任

10月1日 唐木英明理事就任

学園の概況

■学園の沿革（抜粋）

- 昭和30年 4月 加計学園の出発点ともなった広島英数学館を、加計勉が創立
- 昭和36年 9月 **学校法人加計学園**認可、理事長に加計勉就任、岡山電機工業高等学校設置認可
- 昭和37年 4月 **岡山電機工業高等学校**開校（全日制） 初代校長に神崎栄一郎就任
- 昭和39年 1月 岡山理科大学設置認可
- 2月 岡山理科大学設置認可にともない、岡山電機工業高等学校を**岡山理科大学附属高等学校**と改称
- 4月 **岡山理科大学**開学（理学部） 初代学長に加計勉就任
- 昭和42年 4月 岡山理科大学附属高等学校第2代校長として、内藤一人就任
- 昭和44年12月 真庭郡川上村に岡山理科大学蒜山研究所、蒜山学舎を開設
- 昭和48年10月 学校法人加計学園の所在地が岡山市の住居表示変更により、岡山市理大町と町名変更
- 昭和49年 4月 岡山理科大学大学院理学研究科修士課程を設置
- 岡山理科大学附属高等学校第3代校長として中尾寿夫就任
- 昭和50年 4月 岡山高等建築専門学院設置認可
- 5月 **岡山高等建築専門学院**開校（建築学科夜間部定時制） 初代校長に中尾寿夫就任
- 昭和51年 4月 岡山高等建築専門学院、専修学校法施行により**岡山高等建築専門学校**と改称
- 昭和53年 4月 岡山理科大学大学院理学研究科に博士課程（後期）を設置
- 昭和55年 4月 岡山理科大学第2代学長に、奥田毅就任
- 岡山理科大学附属高等学校第4代校長として、松本卓三就任
- 岡山高等建築専門学校昼間部を増設、第2代校長として片山誠二就任
- 7月 寄附行為変更により総長制度認可、初代総長に加計勉就任
- 昭和59年 4月 岡山理科大学第3代学長に、黒谷寿雄就任
- 昭和61年 4月 岡山理科大学工学部設置
- 岡山理科大学附属高等学校第5代校長として、三宅寛就任
- 岡山高等建築専門学校を**岡山理科大学専門学校**と改称
- 平成 2年 4月 岡山理科大学第4代学長に、加計勉就任
- 岡山理科大学大学院の理学研究科を改組し、工学研究科を設置
- 平成 4年 1月 岡山理科大学附属高等学校第6代校長として、加計晃太郎就任
- 4月 岡山理科大学附属高等学校第7代校長として、渡辺己巳生就任
- 平成 6年12月 倉敷芸術科学大学設置認可 初代学長に谷口澄夫就任
- 平成 7年 4月 **倉敷芸術科学大学**開学
- 平成 9年 4月 岡山理科大学総合情報学部を増設
- 12月 玉野看護福祉総合専門学校設置認可
- 平成10年 4月 **玉野看護福祉総合専門学校**を開校 初代校長に金政泰弘就任
- 岡山理科大学附属高等学校第8代校長に三木輝知就任
- 岡山理科大学専門学校第3代校長に村上侑就任
- 平成11年 4月 倉敷芸術科学大学第2代学長に土井章就任
- 倉敷芸術科学大学大学院開設
- 平成12年 4月 倉敷芸術科学大学教養学部を国際教養学部に変更

- 平成12年 4月 岡山理科大学附属高等学校通信制課程普通科を設置
- 平成13年 1月 学校法人加計学園第2代理事長・総長に加計晃太郎就任
- 4月 岡山理科大学大学院修士課程に総合情報研究科設置
倉敷芸術科学大学大学院芸術研究科に博士（後期）課程設置
玉野看護福祉総合専門学校を、**玉野総合医療専門学校**に名称変更
岡山理科大学第5代学長として、山村泰道就任
- 9月 岡山理科大学附属中学校設置認可
- 平成14年 4月 倉敷芸術科学大学大学院（通信制）設置
岡山理科大学附属高等学校第9代校長として、北尾正幸就任
岡山理科大学専門学校第4代校長として、逢坂一正就任
岡山理科大学附属中学校開校 初代校長として、善木道雄就任
- 平成15年 4月 倉敷芸術科学大学産業科学技術学部（通信教育課程）、国際教養学部（通信教育課程）
を設置
- 11月 千葉科学大学設置認可
- 平成16年 3月 倉敷芸術科学大学専門学校設置認可
- 4月 岡山理科大学第6代学長に宮垣嘉也就任
倉敷芸術科学大学生命科学部を設置
倉敷芸術科学大学国際教養学部募集停止
倉敷芸術科学大学国際教養学部（通信教育課程）募集停止
千葉科学大学開学 初代学長に平野敏右就任
倉敷芸術科学大学専門学校開校 初代校長に岡本繁通就任
- 平成17年 4月 倉敷芸術科学大学第3代学長に添田喬就任
岡山理科大学附属高等学校第10代校長に橋爪道彦就任
岡山理科大学附属中学校第2代校長に新倉正和就任
岡山理科大学専門学校第5代校長に圓堂稔就任
玉野総合医療専門学校第2代校長に岡田茂就任
- 平成19年 4月 倉敷芸術科学大学専門学校第2代校長に伊藤敏夫就任
- 平成20年 4月 岡山理科大学第7代学長に波田善夫就任
千葉科学大学大学院薬科学研究科、危機管理学研究科設置
倉敷芸術科学大学専門学校を**倉敷 食と器 専門学校**に名称変更
- 平成21年 4月 岡山理科大学専門学校第6代校長に小林正文就任
- 平成22年 3月 倉敷芸術科学大学国際教養学部を廃止
- 平成22年 4月 千葉科学大学第2代学長に赤木靖春就任
玉野総合医療専門学校第3代校長に高井研一就任
倉敷 食と器 専門学校第3代校長に川上雅之就任
千葉科学大学大学院薬科学研究科博士課程（後期）、危機管理学研究科博士課程（後期）設置
- 平成23年 4月 倉敷 食と器 専門学校第4代校長に亀井秀人就任
岡山理科大学大学院工学研究科生体医工学専攻設置
岡山理科大学大学院工学研究科建築学専攻設置
岡山理科大学工学部建築学科設置
岡山理科大学総合情報学部建築学科募集停止
倉敷芸術科学大学産業科学技術学部経営情報学科設置
倉敷芸術科学大学産業科学技術学部IT科学科募集停止
倉敷芸術科学大学産業科学技術学部起業経営学科募集停止

平成23年 4月 倉敷芸術科学大学生命科学部健康医療学科設置
岡山理科大学大学院理学研究科動物学専攻設置届出
岡山理科大学生物地球学部生物地球学科設置届出
千葉科学大学大学院薬学研究科薬学専攻設置届出
千葉科学大学危機管理学部環境危機管理学科設置届出
千葉科学大学危機管理学部動物危機管理学科設置届出
平成23年10月 倉敷芸術科学大学第4代学長に唐木英明就任
11月 学校法人加計学園50周年記念式典挙行

■設置校概況

平成23年5月1日現在

区 分	合計		教員	職員	計
	定員	現員			
岡山理科大学 (岡山市北区理大町1-1)	5,404	5,587	274	190	464
大学院	384	312		(本部) 77 (理大) 113	
理学研究科	191	139			
工学研究科	141	120			
総合情報研究科	52	53			
学部	5,020	5,275			
理 学 部	2,065	2,337			
工 学 部	1,805	1,801			
総合情報学部	1,150	1,137			
倉敷芸術科学大学 (倉敷市連島町西之浦2640)	2,467	1,784	117	61	178
大学院	126	63			
芸術研究科	52	27			
産業科学技術研究科	44	22			
人間文化研究科	30	14			
学部	1,721	1,695			
芸術学部	410	405			
産業科学技術学部	425	336			
生命科学部	886	954			
大学院 (通信制)	120	14			
芸術研究科	20	4			
産業科学技術研究科	40	0			
人間文化研究科	60	10			
学部 (通信教育課程)	500	12			
産業科学技術学部	500	12			
千葉科学大学 (千葉県銚子市潮見町3)	2,276	1,751	106	47	153
大学院	46	46			
薬科学研究科	30	25			
危機管理学研究科	16	21			
学部	2,230	1,705			
薬学部	1,175	824			
危機管理学部	1,055	881			
岡山理科大学附属高等学校 (岡山市北区理大町1-1)	2,100	1,497	76	19	95
全日制	1,500	1,237			
通信制(1~3年定員:600名)	600	260			
岡山理科大学附属中学校 (岡山市北区理大町1-1)	240	160	15	2	17
岡山理科大学専門学校 (岡山市北区半田町8-3)	460	400	12	13	25
工業専門課程(建築)	120	93			
商業実務専門課程(映像情報)	0	0			
文化・教養専門課程(動物看護, トリミング, ドッグ, 777)	340	307			
文化・教養一般課程(トリミング, ドッグ, 777)	0	0			
玉野総合医療専門学校 (玉野市築港1丁目1-20)	560	472	31	8	39
医療専門課程(保健看護, 理学療法, 作業療法)	480	415			
教育・社会福祉専門課程(介護福祉)	80	57			
倉敷 食と器 専門学校 (倉敷市連島町西之浦2640)	200	96	6	6	12
衛生専門課程(高度調理, 高度製菓)	160	89			
文化・教養専門課程(器デザイン)	40	7			
合 計	13,707	11,747	637	346	983

※別科、専攻科等除く

■事務組織図（平成23年5月1日）



財務関係

■資金収支計算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

収入の部 (単位：円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金収入	15,219,085,820
手数料収入	273,077,025
寄付金収入	295,332,741
補助金収入	2,828,340,620
資産運用収入	182,974,286
資産売却収入	200,000,000
事業収入	159,973,156
雑収入	542,984,250
借入金等収入	1,420,000
前受金収入	2,316,895,150
その他の収入	1,375,802,230
資金収入調整勘定	△ 3,120,964,725
前年度繰越支払資金	20,300,346,851
計	40,575,267,404

支出の部 (単位：円)

科 目	金 額
人件費支出	11,495,400,071
教育研究経費支出	4,045,001,600
管理経費支出	1,436,222,470
借入金等利息支出	154,698,204
借入金等返済支出	978,033,400
施設関係支出	722,407,798
設備関係支出	706,734,145
資産運用支出	272,762,877
その他の支出	1,092,532,235
資金支出調整勘定	△ 1,344,978,549
次年度繰越支払資金	21,016,453,153
計	40,575,267,404

■消費収支計算書

(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

消費収入の部 (単位：円)

科 目	金 額
学生生徒等納付金	15,219,085,820
手数料	273,077,025
寄付金	345,491,923
補助金	2,828,340,620
資産運用収入	182,974,286
事業収入	153,298,841
雑収入	542,984,250
帰属収入合計	19,545,252,765
基本金組入額合計	△ 1,207,947,705
消費収入の部合計	18,337,305,060

消費支出の部 (単位：円)

科 目	金 額
人件費	13,963,837,865
教育研究経費	5,943,896,834
管理経費	1,963,248,708
借入金等利息	154,698,204
資産処分差額	88,681,128
徴収不能引当金繰入額等	24,385,692
消費支出の部合計	22,138,748,431
当年度消費支出超過額	3,801,443,371
前年度繰越消費支出超過額	9,323,384,496
翌年度繰越消費支出超過額	13,124,827,867

※人件費に退職給与引当金特別繰入額(2,468,437,794円)を計上しています

■退職給与引当金特別繰入額の計上

「退職給与引当金の計上等に係る会計方針の統一について」(平成23年2月17日文科科学省通知)が出されたことに伴い、退職給与引当金の計上基準を変更し平成23年度から退職金の期末要支給額の100%を計上することとしたため、平成23年度消費収支計算書の人件費の「退職給与引当金特別繰入額」が増額計上となりました。

■貸借対照表（平成24年3月31日）

資産の部 (単位：円)

科 目	金 額
固定資産	59,904,425,499
有形固定資産	55,132,505,016
その他の固定資産	4,771,920,483
流動資産	22,627,232,185
資産の部合計	82,531,657,684

負債の部 (単位：円)

科 目	金 額
固定負債	13,199,640,509
流動負債	4,608,490,924
負債の部合計	17,808,131,433

基本金の部 (単位：円)

科 目	金 額
基本金の部合計	77,848,354,118

消費収支差額の部 (単位：円)

科 目	金 額
翌年度繰越消費支出超過額	△ 13,124,827,867
消費収支差額の部合計	△ 13,124,827,867
科 目	金 額
負債の部、基本金の部及び消費収支差額の部合計	82,531,657,684

■財産目録（平成24年3月31日）

(単位：円)

科 目	金 額
一資産額	
(一) 基本財産	59,705,849,068
1. 土地	15,851,455,923
借地権	388,140,000
2. 建物	26,764,391,791
(1)校舎	20,988,591,836
(2)図書館	380,295,164
(3)体育館	2,492,847,469
(4)寄宿舎	433,147,903
(5)倉庫	22,532,276
(6)その他	2,446,977,143
3. 建設仮勘定	0
4. 構築物	1,755,620,578
5. 図書	6,641,732,898
6. 教具・校具・備品	4,104,221,666
7. 車両運搬具	15,082,160
8. 積立金	1,985,204,052
9. 特定資産	2,200,000,000
(二) 運用財産	22,825,808,616
1. 預金、現金	21,016,453,153
2. 出資金	64,859,401
3. 有価証券	760,609,833
4. 未収金	743,758,192
5. 仮払金	8,613,152
6. 差入保証金	133,717,030
7. 前払金	95,631,254
8. 貯蔵品	2,166,601
合 計	82,531,657,684
二負債額	
1. 固定負債	13,199,640,509
(1)長期借入金	9,341,609,300
(2)学校債	6,450,000
(3)退職給与引当金	3,851,581,209
2. 流動負債	4,608,490,924
(1)短期借入金	515,418,400
(2)学校債	2,110,000
(3)未払金	1,244,380,243
(4)前受金	2,316,895,150
(5)預り金	514,301,760
(6)仮受金	15,385,371
合 計	17,808,131,433

■財務比率

消費収支計算書及び貸借対照表に基づく財務比率について、下表で本学の経年比率を示しました。

分類	区 分		20年度	21年度	22年度	23年度
	比 率	算式 (×100)				
貸 借 対 照 表	消費収支差額構成比率	$\frac{\text{消費収支差額}}{\text{総 資 金}}$	△7.9%	△9.5%	△11.2%	△15.9%
	基本金比率	$\frac{\text{基 本 金}}{\text{基本金要組入額}}$	87.0%	86.7%	87.5%	88.5%
	固定比率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自 己 資 金}}$	92.2%	92.0%	90.7%	92.6%
	固定長期適合率	$\frac{\text{固 定 資 産}}{\text{自己資金+固定負債}}$	78.5%	78.3%	77.3%	76.9%
	流動比率	$\frac{\text{流 動 資 産}}{\text{流 動 負 債}}$	553.7%	473.1%	564.5%	491.0%
	前受金保有率	$\frac{\text{現 金 預 金}}{\text{前 受 金}}$	837.6%	788.5%	863.1%	907.1%
	総負債比率	$\frac{\text{総 負 債}}{\text{総 資 産}}$	18.7%	19.6%	18.8%	21.6%
	負債率	$\frac{\text{総負債-前受金}}{\text{総 資 産}}$	15.9%	16.5%	15.9%	18.8%
	基本金実質組入率	$\frac{\text{自 己 資 金}}{\text{基本金要組入額}}$	79.3%	77.5%	76.9%	73.6%
消 費 収 支 計 算 書	人件費比率	$\frac{\text{人 件 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	62.6%	64.1%	60.5%	71.4%
	教育研究経費比率	$\frac{\text{教 育 研 究 経 費}}{\text{消 費 支 出}}$	29.8%	29.7%	30.7%	26.8%
	管理経費比率	$\frac{\text{管 理 経 費}}{\text{帰 属 収 入}}$	9.6%	9.2%	9.3%	10.0%
	消費支出比率	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{帰 属 収 入}}$	105.6%	106.2%	102.6%	113.3%
	【経常経費依存率】	$\frac{\text{消 費 支 出}}{\text{学生生徒等納付金}}$	131.3%	133.8%	127.3%	145.5%
	学生生徒等納付金比率	$\frac{\text{学 生 生 徒 等 納 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	80.5%	79.4%	80.7%	77.9%
	寄付金比率	$\frac{\text{寄 付 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	1.0%	0.9%	0.7%	1.8%
	補助金比率	$\frac{\text{補 助 金}}{\text{帰 属 収 入}}$	12.7%	14.0%	14.0%	14.5%
	基本金組入率	$\frac{\text{基 本 金 組 入 額}}{\text{帰 属 収 入}}$	0.9%	1.4%	4.2%	6.2%

■国庫補助金等

設置校名	①	②	③	(単位：千円)		
	経常費補助金	大型機器補助金	G P等 選定事業	その他 国庫補助金	地方公共団体 補助金	合計
岡山理科大学	1,037,501	45,234	96,243	1,641	530	1,181,149
倉敷芸術科学大学	447,782		35,225		4,553	487,560
千葉科学大学	497,297	2,475	27,021	168,587	119	695,499
岡山理科大学附属高等学校				11,325	369,562	380,887
岡山理科大学附属中学校					56,635	56,635
岡山理科大学専門学校					341	341
玉野総合医療専門学校					26,084	26,084
倉敷 食と器 専門学校					186	186
合計	1,982,580	47,709	158,489	181,553	458,010	2,828,341

①経常費補助金・・・私立大学等経常費補助金（一般補助、特別補助）

②大型機器補助金・・・私立学校施設整備費補助金（私立学校教育研究装置等施設整備費（私立大学・大学院等教育研究装置施設整備費））及び私立大学等研究設備整備費補助金（私立大学等研究設備等整備費）

③G P等選定事業・・・大学改革推進等補助金（戦略G P、教育G P等）、科学技術総合推進費補助金等、文部科学省が選定し、支援を行う補助事業

■受託研究・共同研究・科学研究費補助金

設置校等名	受託 研究	共同 研究	科学研究費補助金	
			件数	補助金額
岡山理科大学	31 件	25 件	53 件	109,640 千円
理学部	14	8	16	30,290
工学部	12	15	26	52,650
総合情報学部	4	1	10	26,000
附属施設	1	1	0	0
その他			1	700
倉敷芸術科学大学	7	9	11	11,830
芸術学部	1	1	3	2,600
産業科学技術学部	0	6	3	3,250
生命科学部	6	2	5	5,980
千葉科学大学	6	2	13	21,940
薬学部	5	1	8	17,650
危機管理学部	1	1	5	4,290
岡山理科大学専門学校	2			
合計	46	36	77	143,410